

消防団活動支援サービスの利用 提案評価表

項番	評価項目		調達仕様書	要件定義書	参照項番	評価基準	配点	割合	
1 業務及びサービスに対する理解							重要度	77	8.37%
1	1	本調達の背景、目的に係る理解	●	●	全体	・調達仕様書、要件定義書及びその他公表資料等を参照し、本調達の背景及び目的に関する理解が十分であることが示されているか。	重み②	20	2.17%
1	2	対象となる業務及びサービスに関する理解	●	－	1.(4)	・調達仕様書を参照し、本調達が対象とする業務及びサービスに関する理解が十分であることが示されているか。	重み①	12	1.30%
1	3	スケジュール	●	－	1.(6)	・調達仕様書を参照し、各作業の作業期間等が作業スケジュールとして具体化されているか。 ・スケジュールの遅延によるリスクやその対応策が具体的に示されているか。	重み④	45	4.89%
2 業務要件定義								86	9.35%
2	1	業務要件に関する全体的な理解	－	●	2	・要件定義書に示す業務要件を理解した上で、業務要件を実現するための取組等について、具体的に示されているか。 ・業務要件の実現にあたり、留意すべき点や工夫できる点等について、具体的に示されているか。	重み②	20	2.17%
2	2	業務内容の理解	－	●	2.(2)	・想定するケースに応じた画面遷移図等により、提供するサービスの画面イメージや操作の流れ等について、具体的に示されているか。	重み⑤	66	7.17%
3 機能要件定義								215	23.37%
3	1	機能に関する事項への理解と実現方法	－	●	3.1.	・各機能について、機能実現にあたって要件に加えて、利便性等を考慮し提案する内容について、具体的に示されているか。（変更箇所や利点を明示的に示すこと）	重み②	20	2.17%
3	2	機能実現に向けた具体的な実現方法等の提案（実績等取得機能）	－	●	3.1.	・実績等取得機能について、機能実現方法について実現手段を含め、具体的に示されているか。 ・利便性や費用対効果、消防団活動内容等を加味した提案がなされているか。	重み④	46	5.00%
3	3	機能実現に向けた具体的な実現方法等の提案（コミュニケーション機能）	－	●	3.1.	・コミュニケーション機能について、機能実現方法について実現手段を含め、具体的に示されているか。 ・利便性や費用対効果、消防団活動内容等を加味した提案がなされているか。	重み④	46	5.00%
3	4	外部インターフェースに関する事項への理解と実現方法	－	●	3.5.	・外部インターフェースについて連携先システムとの仕様確認、連携テスト等の確実な実施に向けた計画が具体的に示されているか。 ・遅延リスク等を考慮した対策検討結果等が示されているか。	重み③	33	3.59%
3	5	機能一覧対応可否について	－	－	－	・機能一覧について、対応見込みが示されているか。 （機能一覧対応可否確認表の○、△、×の記載結果を相対的に評価するものとする。）	重み⑥	70	7.61%
4 非機能要件定義								330	35.87%
4	1	ユーザビリティに関する事項への理解と実現方法	－	●	4.1.	・ユーザビリティ要件を実現するための取組等について、具体的に示されているか。 ・ユーザビリティ要件の実現にあたり、留意すべき点や工夫できる点等について、具体的に示されているか。 ・スマートフォン等の操作に不慣れなユーザにも配慮した工夫（誤入力防止、操作の誘導など）が示されているか。	重み③	33	3.59%
4	2	信頼性に関する事項への理解と実現方法	－	●	4.5.	要件として求める「可用性に係る目標値」について、上回る水準を目標値として設定する場合、その根拠等が示されているか。（上回る度合に応じて評価を行う。）	重み⑤	66	7.17%
4	3	拡張性に関する事項への理解と実現方法	－	●	4.6.	・継続的な性能拡張、機能拡張に向け、実現可能な環境等が準備されていることが示されているか。	重み②	20	2.17%
4	4	情報セキュリティに関する事項への理解と実現方法	－	●	4.10.	・情報セキュリティ要件を実現するための取組等について、具体的に示されているか。 ・情報セキュリティ要件の実現にあたり、留意すべき点や工夫できる点等について、具体的に示されているか。	重み②	20	2.17%
4	5	テストに関する事項への理解と実現方法	－	●	4.12.	・テスト実施について、スケジュールや本市との役割分担等を含め、具体的に示されているか。 ・サービス品質向上に向けたテスト実施における取組等について、具体的に示されているか。 ・サービスリリースに向け、想定している品質基準について、判断指標等が具体的に示されているか。	重み⑤	66	7.17%
4	6	教育に関する事項への理解と実現方法	－	●	4.15.	・教育要件を実現するための取組等について、具体的に示されているか。 ・教育要件の実現にあたり、留意すべき点や工夫できる点等について、具体的に示されているか。 ・現実的なスケジュールが計画された上で、本市と受託者の役割分担について示されているか。 ・スマートフォン等の操作に不慣れなユーザにも配慮した工夫等が示されているか。 ・研修に限らず、可能な限り全ての消防団員がサービスを利用できる形となるような研修プランや施策等について具体的に示されているか。 ・要件に求める対応等に加えて、有用な施策等の提案が具体的に示されているか。	重み④	46	5.00%
4	7	運用に関する事項への理解と実現方法	－	●	4.16.	・原則24時間365日、5年以上のサービス提供を実現するに向けた計画や取組等について、具体的に示されているか。 ・利用者が管理者等に問い合わせることなく、サービスが利用できるように利用者を意識した分かりやすいマニュアルの準備や、FAQの準備など利用者の利便性等を考慮した取組について具体的に示されているか。 ・利用者の利便性を考慮した問い合わせツール等について検討、提案がなされているか。	重み③	33	3.59%
4	8	継続的な機能追加、機能改修に係る取り組み	－	●	4.17.	☑ 本サービス利用における本市の機能追加や機能改修に係る要望を本市から汲み上げるよう、必要に応じて打合せの機会等を設けるに際しての具体的な計画等が示されているか。 ・その他、機能追加や機能改修等を含め、サービス品質向上に向けた取組について示されているか。	重み④	46	5.00%
5 作業の実施体制・方法								152	16.52%
5	1	作業の実施体制	●	－	5.1.	・提案者の実施体制図が記載され、担当者が確定している要員全員の氏名（最低でもチームリーダー以上は必須）が明記されているか。 ・各要員について、本業務への配属期間、本業務以外の業務との兼任の有無、兼任の場合は、本業務への関与割合が示されているか。また、プロジェクトの実施責任者やチームリーダーが長期にわたりプロジェクトに携われない事態においても、継続してプロジェクトを円滑に運営する対策が取られているか。 ・スケジュール遅延や要員の長期離脱等が生じた場合の対策として、要員計画に加えて、バックアップ体制等の検討が具体的に示されているか。 ・本業務の一部を調達仕様書の「9.再委託」の要件を踏まえた上で第三者に再委託する場合、再委託先の事業者名、再委託する業務の範囲が明示されているか。	重み⑤	66	7.17%
5	2	品質管理体制	●	－	5.1.	・品質管理体制について具体的に示されているか。 ・品質担保に向けた実現性のある施策等が示されているか。	重み⑤	66	7.17%
5	3	実施責任者の条件	●	－	5.1.	・調達仕様書に示された要件について、実施責任者として確定している要員の過去の実務経歴が示されており、調達仕様書に記載された要件を全て充足しているか。	重み②	20	2.17%
6 応札条件								20	2.17%
6	1	事業者の実績	●	－	－	・事業者の過去の豊富な受託実績が示されているか。 記載に際しては、以下のいずれかの条件を満たすこと。 -ユーザ数やデータ数など規模感が近いサービス提供の実績である。 -ユーザ数やデータ数など規模感が近いアプリ開発の実績である。	重み②	20	2.17%
7 その他								40	4.35%
7	1	企業としての取組に対する評価について	－	－	－	落札者決定基準に記載のとおり。	重み②	21	2.28%
7	2	追加提案項目	－	－	－	・提案書作成要領に示す横浜市の将来構想を理解した上で、防災分野への展開等の提案が、実現可能な範囲で、具体的に示されているか。 ・横浜市における将来的な防災分野の取組みとして、有用かつ実現性の高い提案内容か。	重み②	19	2.07%
合計								920	100%